

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
音楽科教育法	講義	2	井本 英子
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>小学校音楽科の目標及び指導内容を知る。①小学校学習指導要領の目標・内容を理解する。②教材となる楽曲演奏のための音楽力を習得する。③教材となる楽曲の分析・理解する。④教材研究のポイントを掴み、指導案が書ける。⑤指導案を基に模擬授業を行い、振り返りができる。</p>			
【授業の概要】			
<p>小学校学習指導要領に則して、主に共通教材の楽曲を習熟し、指導方法を研究する。音楽科教育の目的を理解し、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の各内容の充実した指導と、表現と鑑賞の各活動の関連を図った授業づくりができるように、教科書の教材研究を通じて音楽科の学習指導に必要な力を身につける。歌唱、弾き歌い、伴奏、器楽演奏等の実習も伴う。</p>			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス			
2. 小学校音楽科の意義・教科目標についての考察			
3. 小学校音楽科の学年目標についての考察			
4. 指導内容の6年間の流れ			
5. 表現及び鑑賞活動についての考察			
6. 歌唱教材の研究1（低学年）			
7. 歌唱教材の研究2（中、高学年）			
8. 器楽教材の研究1（低学年）			
9. 器楽教材の研究2（中、高学年）			
10. 鑑賞教材の研究1（低学年）			
11. 鑑賞教材の研究2（中、高学年）			
12. 創作指導の研究			
13. 学習指導案作成			
14. 学習指導案による模擬授業			
15. 試験と振り返り			
【準備学習の内容】			
予習のあり方：毎回の課題曲を各自練習のこと。			
学習のあり方：講義の考察課題だけでなく、グループワークやグループディスカッションにおいても意欲的に参加すること。第8回授業からは各自リコーダー（ソプラノ）を持参すること。			
復習のあり方：各課題において各自模擬授業をして復習すること。			
【成績評価】			
平常授業内における習得度及び実技評価 50%、授業内レポート 20%、授業内試験 30%			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。			
【テキスト】			
適宜教材・資料を配布する。			
【参考文献】			
文部科学省『小学校指導要領解説（音楽篇）』、その他授業内に紹介する。			